



国土交通省 運輸安全委員会事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号 四谷タワー15階

電話:03-5367-5025 (内線122,123)

URL: <https://www.mlit.go.jp/jtsb/saiyou.html>



採用時勤務地（四谷タワー）

○採用区分

国家公務員採用一般職試験（大卒程度）

「行政」…本府省採用 / 「デジタル・電気・電子」、「機械」、「土木」、「物理」、「化学」

○運輸安全委員会の業務

運輸安全委員会は、航空、鉄道、船舶の事故等の調査により、事故等の原因究明を徹底して行うことによって、事故等の再発防止を図り、運輸の安全性の向上を目指している独立した機関（国土交通省の外局）です。

事故が発生すると、事故調査官が事故現場へ派遣され、関係者からの口述聴取、物件の検査、資料収集などの事実調査が行われます。

事故現場で行われた事実調査から、試験研究や、総合的な解析を行います。航空部門を例に挙げると、フライトレコーダーや音声記録の解析などが行われ、事故原因を究明していきます。事故調査官は、これらの結果を踏まえ、事故調査報告書案を作成します。

事故調査官が作成した事故調査報告書案は、委員会又は部会において審議します。非常に重大な事案は、全委員による委員会で審議しますが、一般的な事案は、交通部門ごとの部会で審議します。

部会等で報告書案がまとまると、原因関係者への意見聴取や関係国への意見照会の手続きを行った後、報告書を議決します。

議決した報告書は、国土交通大臣へ提出するとともに、運輸安全委員会のホームページで公表します。

また、必要があると認められるときは、原因関係者へ改善を求めて勧告したり、関係行政機関に施策を提案する意見を述べたりする場合があります。この場合、関係者において改善施策や安全対策を実施し、運輸安全委員会へ講じた措置を報告する流れになります。



○キャリアアップイメージ

採用されて数年は、事務系・技術系関係なく、本部（東京）の総務課や参事官に配属され、行政事務の基本を身につけます。その後、技術系の方が早く、事故調査に関わる業務を行うこととなりますが、事務系職員も知識・経験を習得した上で、事故調査官に登用していきます。係員・係長（調査官補含む）、専門官・課長補佐（調査官含む）等の各ステップにおいて、研修や人事交流を経て、管理（総務・会計・企画）、事故調査、統計分析、国際渉外など、多種多様な分野で活躍していただきます。

○先輩からのメッセージ

私は、技術職（化学系）として入庁し、事故調査官を目指して日々の業務に励んでいます。研修や業務を通じて専門的な技術や知識を習得し、成長することができる職場だと思います。（係員/R5年採用/女性）

上司への相談や、他部署との打合せがしやすく、風通しのよい職場環境です。また、航空、鉄道、船舶という、国民生活には欠かせない交通運輸の安全を支える職場なのでやりがいもあります。（係員/R4年採用/男性）

